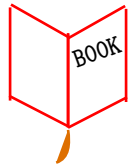


池田満寿夫ライブラリー

2012年12月22日—2013年7月23日

子どもガイド



みなさん本は好きですか？

池田満寿夫は小説を書いたり、本の表紙のデザインをいくつも作りました。

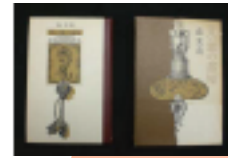
今回は絵だけでなく本の表紙も見られるはじめての企画展です。どうぞごらんくださいね！



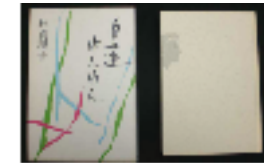
1977年 角川書店刊
池田満寿夫の小説『エーゲ海に捧ぐ』

本の“そうてい”ってなに？

☆本の表紙のデザインをつくることです



これも



これも

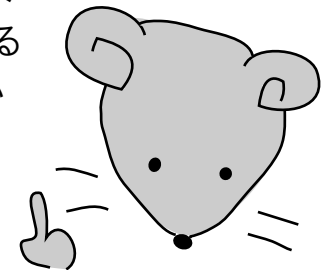


これも池田さんがデザインしたよ

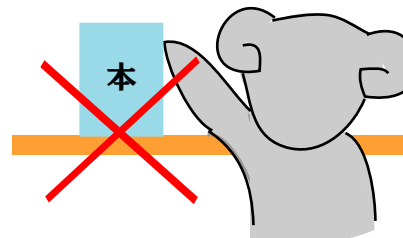
ひとつひとつちがうデザインだね

ちゅうもく

池田さんはそれぞれの本のないようや書いた人に合った表紙をつくるのがだいじだと思っていたよ。だから全部いっしょではないんだ



おねがい

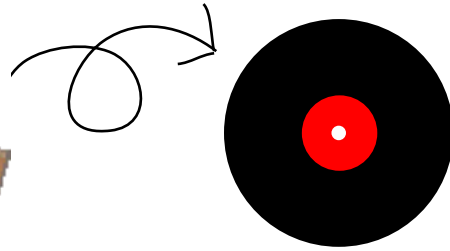
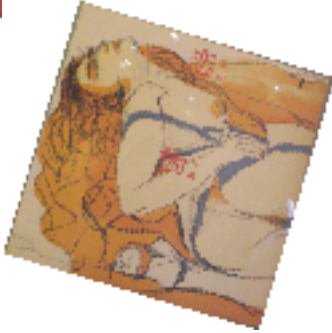


てんじ
展示されている本や作品には
さわらないでね!

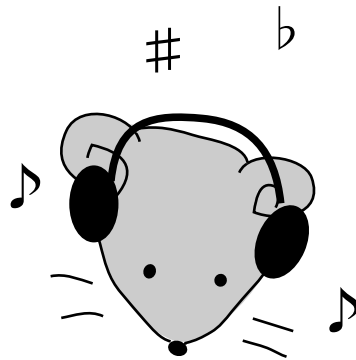
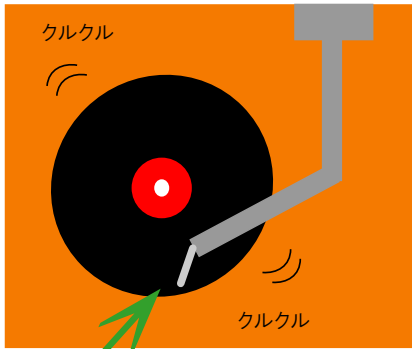
レコードの表紙



池田さんの作品がつかわれた
レコード・ジャケット



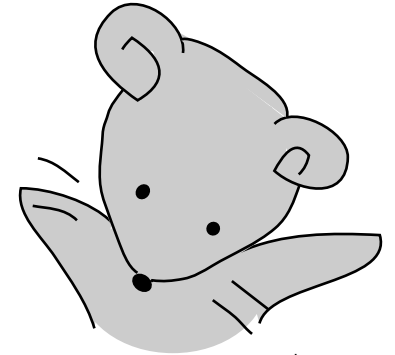
中には大きな丸いレコードが
入っているよ



レコード・プレーヤーの上で回っているレコードに
はりおとすと音がでます ♪

まめほん 豆本ってなに？

☆手のひらにのるくらいの小さな本のことだよ



小さくてかわいいね。読むのは
たいへんそう…

小さいけれど中にはちゃんと
文字が書かれています

大きさは幅約9センチ
メートルくらいだよ

この豆本はこれでページをめくります



池田さんは画家として有名になる前から
そうていしごとの仕事をしていました。これがの
ちに、たくさんの人の本のそうていしごとをたの
まれたり、自分でも小説を書ききっかけに
なったのではないのでしょうか。

コラージュの世界^{せかい}

たとえば



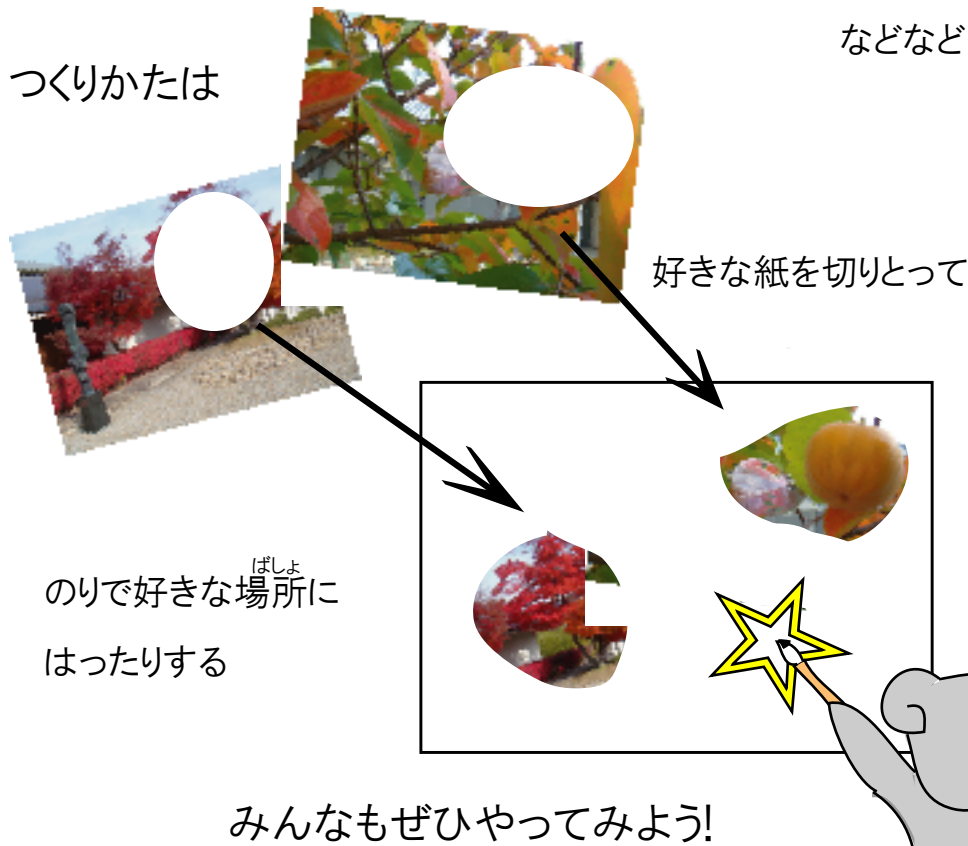
アンドレ・ブルトン著『超現実主義とは何か』

池田さんはコラージュを本の表紙にしました



アラン・シリトー著『長距離走者の孤独』

つくりかたは



などなど

好きな紙を切りとって

のりで好きな場所にはったりする

みんなもぜひやってみよう!

展示されていた作品や本のなかで、きみがおもしろく思ったものはありましたか。図書館や本屋さんに行くときに、本の表紙にも注目してみると楽しいかもしれません。



本の表紙の絵やデザインは、いちばんさいしょに目に入るところです。本が売れるかどうかの大切なポイントとなります。池田さんは友だちの本のそうていもひきうけていました。うでの見せどころですね。



1階は、池田さんの作ってきた作品の変化が分かるように展示されています。銅版画や立体作品などいろいろ見られるよ。



次回の企画展もお楽しみに!